

行橋市議会 議会報告会

『総務委員会』

令和5年5月17日(水)

本日のメニュー



1. 委員紹介と委員会の役割
2. 行橋市の財政状況
3. 令和5年度予算について
4. 委員会審査内容

総務委員会委員の紹介



小坪 慎也議員



二保 茂則 議員



小見 祐治議員



副委員長 矢野 潤一



委員長 井上 倫太郎



徳永 克子議員

定例議会において総務委員会に付託された議案（予算、補正予算、決算、条例、請願など）の審査・採決を行います！
（議員の意見、執行部へ質問・提言などの政策論争）

★総務委員会の所管部署

【市長公室】 秘書課

【総務部】 総務課、総合政策課、財政課、情報政策課、契約検査課、
人権政策課、防災危機管理室、基地対策室

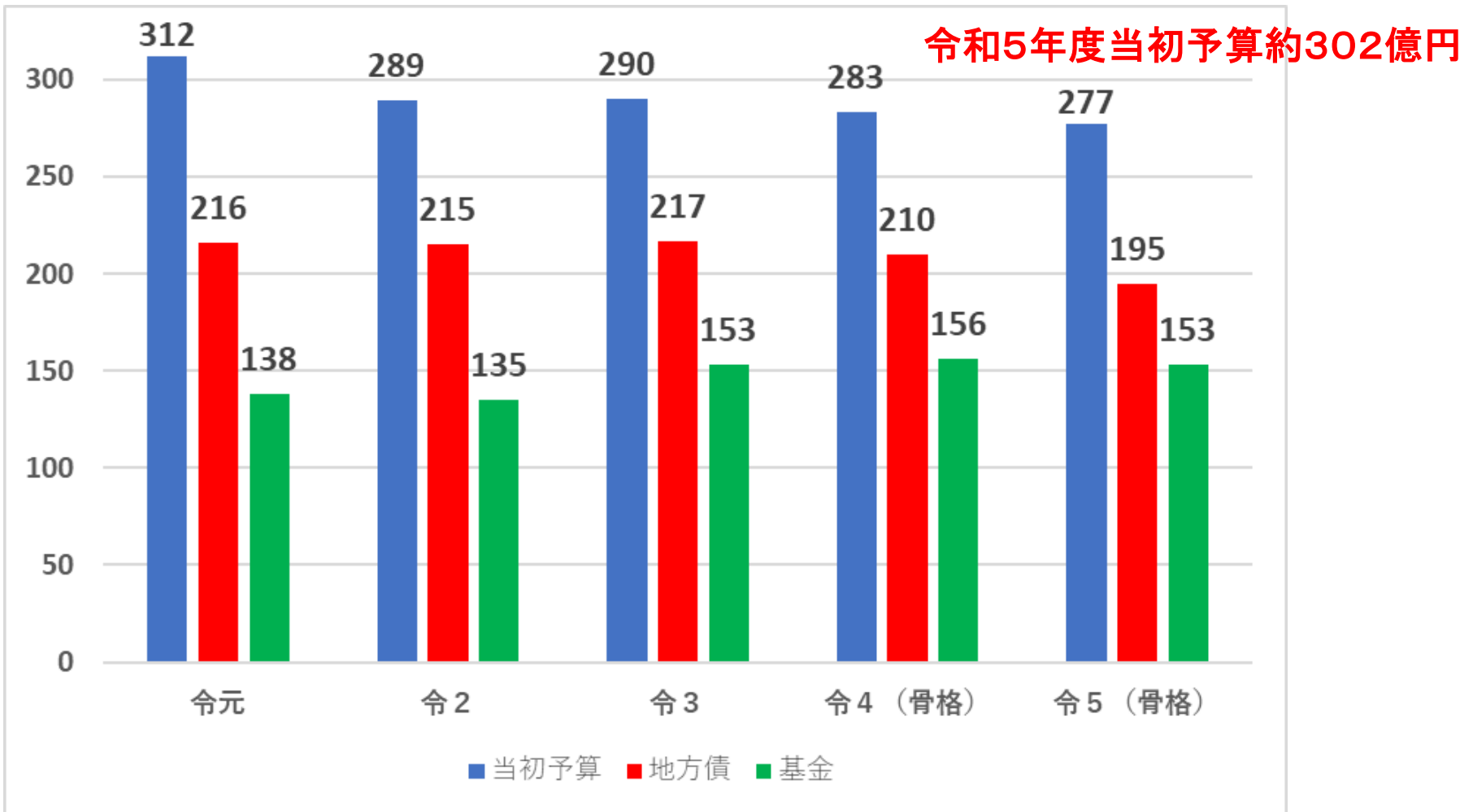
【市民部】 総合窓口課、税務課、収納課、債権管理課、市民相談室、
国保年金課

【その他】 監査事務局、選挙管理委員会、会計課、議会事務局

【消防本部】 総務課、警防課、予防課、消防署



過去5年間の財政状況



- 令和元年度は新図書館の建設費用が計上され過去最高の予算規模になっています。
- 令和5年度の当初予算額は約302億円で過去2番目の大型予算でありました。
- R5地方債現在高見込み195億329万9千円うち、臨時財政対策債 89億3521万9千円
- 令和3年度の経常収支比率88.8%



令和5年度主な事業と予算

○子ども医療費(予算額:317,405,000円)

- ・これまで0歳から15歳まで対象だったところを18歳まで拡充

○出産・子育て応援交付金事業(予算額:66,989,000円)

- ・妊娠届出時に5万円、出産届出後に5万円を給付

○部活動改革事業(予算額:2,025,000円)

- ・外部指導者3名分の人件費

○京築未来のリーダー育成プログラム事業(予算額:853,000円)

- ・中学1,2年生を対象とした、将来様々な分野でリーダーとして活躍するための意識付け やきっかけをつくるため、地域に縁のある方等を講師に招き、リーダー育成プログラム研修を実施

○消防車両等整備事業(予算額:295,276,000円)

- ・屈折式はじご自動車、高規格救急自動車の更新経費



総務委員会での審査内容

【新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金】

新型コロナウイルス感染拡大防止や、地域経済や住民生活の支援・原油価格、物価高騰に対する支援を目的とした国から地方公共団体への補助金。

令和2年度:約9億4000万円 令和3年度約3億9000万円 令和4年度:約7億6000万円

コロナ禍の3カ年合計で約21億円

【令和2年度地方創生臨時交付金活用事業】

- ・感染拡大防止休業協力店舗支援事業・・・飲食店を中心に休業補償20万円
- ・子育て応援特別給付金・・・新生児1人あたり10万円を給付
- ・地域公共交通感染症拡大防止対策支援事業・・・市内タクシー・バス事業者へ、1台3万円
- ・行橋市保育従事者慰労金・・・保育に従事している職員に対して慰労金を給付
- ・インフルエンザ予防接種支援・・・高齢者、子ども、妊婦のインフルエンザ予防接種の経費を補助

【令和3年度地方創生臨時交付金活用事業】

- ・小中学校修学旅行キャンセル料負担事業・・・8日前キャンセルをした場合のキャンセル料
- ・大学生応援給付金・・・高校生5万円、大学生3万円
- ・行政サービスデジタル化事業・・・各種行政手続きをオンライン化
- ・ワクチン接種協力事業者支援事業・・・個別接種に協力してくれた市内の民間医療機関支援金

【令和4年度地方創生臨時交付金活用事業】

- ・庁舎トイレ洋式化改修事業・・・庁舎のトイレ(31か所)を洋式化する
- ・小中学校施設整備・・・小中学校体育館に移動式冷暖房機を整備

**100を超える
事業を実施**



総務委員会での審査内容

【物価高騰支援について】

国は原油価格や電気ガスなど物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して地域の実情に応じてきめ細やかな支援を行えるように、緊急的に地方創生臨時交付金を拡充。

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を使った主な事業(令和4年9月)

- ・行橋市中小企業者原油価格・物価高騰等支援事業(原油価格、物価高騰に対する支援。1事業者につき法人10万円、個人事業主5万円を給付)
⇒事業予算額2億8,255万9千円、充当予定額1億7,991万6千円(令和4年9月時点)
⇒充当額1億3,350万円
- ・地域経済循環創造事業(市内の対象店舗で特定のキャッシュレス決済サービスを利用した方に、決済金額の15%相当分のポイントを付与)
⇒事業予算額1億7,000万円、充当予定額7,923万3千円(令和4年9月時点)
⇒充当額5,417万7千円

第一弾はより市民の皆様に直接還元できる事業を実施すべきである

12月補正

上水道料金の減免 ⇒事業予算額1億2857万4千円 充当予定額1億2857万3千円

3月補正(臨時交付金を使った事業の中で令和5年度へ繰越す事業)

議会の指摘

上水道未給水世帯等支援給付金支給事業

⇒事業費 4318万5千円 充当額 2500万円

行橋市子どもエール給付金事業

⇒事業費 1億8722万3千円 充当額 1億5578万円

緊急的な支援が遅れてしまっている！



総務委員会での審査内容

【農林水産事業者支援】

新型コロナウイルス感染症拡大による収入減少、燃料油等の価格高騰に対し、農林水産業者の事業継続を支援する。

法人：10万円

個人：5万円

①漁業者支援

対象：正組合員220人 × 5万円 = 1100万円
(沓尾66、稲童47、蓑島95、長井12)

②畜産業者支援

対象：法人1団体 個人2名 = 20万円

③農業事業者支援

対象：認定農業者45名 認定新規就農者9名
農事組合法人10団体 営農組合1団体

個人54人 × 5万円 = 270万円

法人11団体 × 10万円 = 110万円

合計380万円

農業者については個人が含まれておらず、本当にフェアネス（公平）と言えるのか非常に疑問である（農業申告者約140名）



総務委員会での審査内容

【30m級先端屈折式はしご自動車 苅田町との共同運用】

30m級はしご自動車の更新予定(17年更新) **1台 約2億5千万円**

●行橋市単独で更新する場合

防衛補助概算額 7500万円⇒**1億7500万円の負担**

国からの通知があり、今年度から高額で使用率の低い車両については、近隣自治体と共同運用する方向性が出されました。

緊急防災減災事業債 充当率100%、地方交付税参入率70%

苅田町も同じタイミングで更新を迎えていた！

苅田町との 連携協約/共同整備

購入経費の負担予定額(基準財政需要額での按分)

行橋市	1億5710万210円(62.05%)
苅田町	9610万210円(37.95%)
合計	2億5320万420円

緊急防災減災事業債を活用する事で
70%が交付税処置となるので

実質負担は**4700万円**

+a(維持管理費用も按分)

この事業は全国初の取組み！



ご清聴ありがとうございました。

令和5年5月17日(水)

行橋市議会

総務委員会